

根本的に好きだからというか、性格的にでしょうね。何か、理由とかは何もないんですよ。本当に好きだから。

■ 家事へのかかわり

洗濯とか洗い物とかというのは、逆にきれい好きだと思うんですよ。あるのが逆にイライラしてきてしまうので。ご飯は、昔から自分でつくるのが大好きなんです。

シーズン中は1割ぐらいだと思います。どうしても忙しいので。シーズンオフは……。半分、半分ぐらい。

■ 育児休業について

会社には属していますが自営と一緒になので。自分がやりたい仕事、やりたくない仕事は僕が決めることなので、幾らでも極力休暇はつくろうと思えばというか、つくりたいぐらいですね。

ただ、やはり仕事を休んでしまうと家計にも響くので、例えば週3日を充てるとかという。

■ 妻の社会復帰

それは育休をとって、その後はまた働きに出て。

■ 周囲の子どもの数

おれ（夫）の周りは、1人が多いな。やっぱりみんなに聞くとつくりたいと思うんですよ、2人目とか3人は。

私（妻）の場合は、意外と3人とか多いんですよ。もう変な話、中学生の子がいる友達もいれば、最近2人目が生まれたとかという子もいて、意外ときょうだい多いですね。

家庭環境が整っているのか知らないけれども、両親がいたりおじいちゃん、おばあちゃんが見てくれたり。何というんだろう、気持ちに余裕があるんですよ。

■ 子育てのポジティブな面

やっぱり僕の分身だからね。言葉をうまくすれば、後世をつくるという。人間として仕事を果たせたなと思うのかな。

自分の楽しさでしょうね。遊ぶということは、自分も楽しいから。ストレス発

散になるのかな

■教育観

とにかく勉強なんかできなくてもいいので何か一つ光ったものを育ててあげたいなど。

男の子だと、スポーツ選手がいいですね。女の子だったら、もういたって普通の女の子でいいです。本人がいい人生が送れる手助けができれば。

僕はもう自由奔放に。実際若気の至りじゃないけど、若いうちにいろいろな悪いことをしないといいか悪いかという判断はできない。そういうことをしたからこそ大人になってからいい大人になると思うので。逆にそうやって型にはめるほど悪くなると、僕的にはそういう感覚があるので。

高校出るまでかな。大学とか行きたいというのだったら、それはお金の援助はしますけれど。

さっさと保育園に行ったほうがいいよと思います。集団生活をしたほうがおこくなるので。

過保護が嫌いなんですよね。

■妻の教育観

私自身は1年間育休をとったら保育園に出したいんですよ。自分が保育園に携わっていて、集団の生活という現場をすごくよく見ているから。集団に入れて、そのほかの時間を主人の両親とかに手伝っていただければなという。

将来どうしようと思うと不安になっちゃうけど。そういうことを考えていないから楽しいと思うし。そういう中で子育てしたいなというところもあるし。「将来のために、将来のために」と子どもには言いたくないよねと。

優しいことだけ。だれにでもかけられる普通の優しさを持ってほしい。やっぱり人を殺（あや）めたり傷つけたりするような人間にだけはなってほしくないと思います。

■育児環境

お互いの実家が近いものですから、面倒見てくれる人がいるので。

■理想の子どもがもてない理由

この2人がいま東京にポンと出されて、アパート暮らしをしているのとは違うね。やっぱり両親が近くにいるし、あしたのご飯は困らないし、全然そこが違

うよね。

まずやっぱりやりくりでしょう、いろいろ。それで例えば子どもができたら、面倒はどうするんだという話にもなってきちゃうじゃないですか。（子どもは1人でいいと）そうなっちゃうと思います。

一般的に考えるとやはり景気が低迷しているから、どうしてもお父さん、お母さんのところのお財布が乏しくなっている分だけ子どもをつくらない。結局は一点集中にお金をかけるか、もしくは自分の生活の水準をこれ以上下げられないのかという、最終的にはやはりお金のところだと僕は思いますけれどね。

■ その他

（経済的なことによって子どもの数が変わることは）それはないかな。何とかなるかなという部分があって、お互いの実家も近いし。ぜいたくはできないし、子どもにぜいたくはさせられないかもしれないけれど、何とかなるなという部分はあるし。

ただ、自分の年齢と、やはりちょっと子どもができにくいんだらうなという不安の部分で、その不安のほうが大きくて。

（同業の友人は）週1日奥さんに休み、有給休暇を。専業主婦なので、その奥様が。僕の周りが多いですね。マサキだって、週3日仕事を休むかな。（奥さんは働いていないけど）

<既婚子なし 10, 29 歳, 長野県長野市, 飲食業>

■ 子どもを持つタイミング

うちもう結婚してすぐから子ども欲しいねという話で, できるのを待ってる状態のまんま今1年ちょいなんですけど.

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

そういう話はたまにするんですけど, (妻も) やっぱり2人かな.
今の奥さんと結婚を意識したころですね. つき合っただけくらいには, そういう話とかしたかな.

今いないから1人というか, 1人欲しいね——1人というか子どもが欲しいねという話はする

■ 子どもの数

理想は2人. でも1人かなという気持ちもある.

1人はちょっと. 自分がもし一人っ子だったら寂しいというか, 何か大人になった上で, きょうだいと一緒に生活して我慢しなきゃいけないところとか, こういうのも学んできたと思うから, きょうだいは必要かなと思う.

今まだ子どもいないじゃないですか, だから子どもでお金がどのくらいかかるとか, 生活がどうなるかというのわからないから, 漠然と2人ということですね.

やっぱりきょうだいはいたほうがいいから, 1人じゃなくてそれ以上ということですね.

仕事が変わって収入が減ってというのも考えたりすると, 絶対に2人欲しいというふうに思わないですね.

■ 子育て観

0, 1歳, 2歳というのは, あまりよくはないなと思うけど, (妻が)働かないでいたほうが子どもの的にはいい面も多いのかなとも思うんですけど. みんなの中で生活したり, ほかの大人と接することもあるから, それはそれで後になっていいかなとも思うし.

■ 育児へのかかわり

やろうとは思ってますけどもね. できる限りは. 休みの日だったら, 洗濯や掃除があればやるだろうし, 買い物も, 大きな買い物があればその日に合わせて

買いにいくだろうし。そんな感じかな。

子どものおむつかえたりするのは多分やると思うけど、あと、大きな全部見ているというのはできないじゃないですか、やっぱり時間的なものもあるし。だからそれができないから、それ以外の、育児以外の仕事でできるようなものはやろうかなとは思っています。

■ 家事へのかかわり

今はしないかな。風呂を洗ってる

■ 育児休業について

長期は無理だよな。

(とれても) おれは要らないというか。

帰ってきて、じゃあ、どうなってるのかというところに戻るまで大分かかるんですよ。店を、状況を。だからくれると言われても。だから、それと子どもを育ててみたいのが、全部やってみたいというのがつながらないんですよ。

何も考えずに子どもを育ててみたい、一からやってみたいといたら、やってみたいっちゃやってみたいですよ。ただそれはつながってないですよ。休みがあるからやってみたいわけじゃなくて。そういう感じかな。

■ 会社の雰囲気

(半日抜けたりするのは) 会社じゃないよね。店舗でその状況次第だよな。

■ 妻の社会復帰

(子どもが) できるかできないかわかんないという状況だから、働きたいという話があって、だからもうずっと今まだ仕事探してるんですよ。生まれたらやめる気ではいるみたいですけど。

■ 教育観

どう育てほしいというのもないし。ないというか、まあ・・・で健康であればいいかな。

まだそこまで考えるよりも、生まれる、生まれてほしい、というところでとまっていますよね。

■ 理想の子どもがもてない理由

僕も理想は2人だけど、1人かもしれないというのは、やっぱりそういう理由

が。その場、完璧にこれ、これ、これという理由はないけど、金銭面であったり何だっったりというのがるんじゃないかな。それで金銭面ということは、要は奥さんが働かなきゃいけない。

そこにだから1個や2個の理由が絡めば、「減ってるよね?」。要は都会に住んでりゃさ、2DKに住んでいて子ども1人で2人目きついよな、でも引っ越せないよな、といったら2人とか。そういう理由も多分あるんじゃないですか。田舎に住んでる人は、その金銭の問題だけクリアすれば別に、子どもがいっぱい欲しいなとちょっとでも思っている人だったら2人以上になるでしょうね、多分ね。

2人目はきついけども、でもそれ（出産祝い金）をもらえたから持とうという気持ちにはならないかな、それだけじゃね。生まれたからそこで20万もらったからって。

だから高校ぐらいまでは見てくれよって感じだよな。学費か。

■ その他

要は（子どもが）できるかなという不安。

<既婚子なし 11, 31 歳, 長野県長野市, 会社員>

■ 子どもを持つタイミング

結婚当初は1~2年は別にいいかなみたいな感じだったんですけど, ここ2年くらいは, 1人欲しいかなと. ちょっと年齢のことがあるんで, もう31ですの
で. まあ20歳(はたち)になったときに50過ぎになっちゃうから, 2人って
考えるとぼちぼち1人目はという感じですね.

やっぱり周りが30過ぎてくると, その世代というのがあって, みんな子どもが
できてくるじゃないですか. そうすると, やっぱ何となく欲しいかなという気
持ちになってくるのかなと. 30が境ぐらいじゃないですか.

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

結婚イコールすぐ子どもかというところでもない. でもまあそのうち欲しいか
なみたいな. だから当初は何人とかって, あんまり僕のところは考えなくて.

■ 子どもの数

2人ぐらいかな. 2人くらいは, 育てられればそれが限界じゃないかなと思っ
て, 金銭的に.

1人だと, やっぱりきょうだいがいないのはかわいそうかなと.

やっぱ1人だと過保護になりそうとか. きょうだいがいたほうがしっかりした
子になるかなと

まず1人できることから問題なので, 男女(おとこおんな)というのはあま
り考えてない.

あんまり2人, 2人とか考えたことはないです. まず, まず1人というところ
ですね.

んなたくさんというのは, 最初から考えていないんで.

自分の子どもだったらちゃんと育てなきゃだめだなと思うと, 目が行き届くか
どうかとか, そういうことを考えると, まあ2人ぐらいかなと思いますけど.

■ 家事へのかかわり

家事というと, ほとんどやってないに等しいくらいで, 家事と言えるかどうか
っていうと, 布団を敷いて片づけるくらい(笑). そんなもんかな. それと犬を
飼ってるから, 朝散歩へ行くぐらい…….

■ 育児へのかかわり

親戚とかも近くにいないから、仮に今ここで考えるぐらいなことしか考えたことはないんだけど、そうなるとやっぱり、家でつきっきりになっちゃったりすると大変かなと、まあ、なるだけ手伝えることは手伝っていこうかなとは思いますが。

■ 育児休業について

(会社に制度は) それはある。あります。

(自分は) 多分とらないと思います。(男性が) とったというのを聞いたことがないので。

1週間2週間とかいうんだったらとろうと思えば可能だとは思いますが、そうなって休んじゃうと、ちょっと会社的には迷惑がかかっちゃうかなとか思うんで。

時間短縮は不可能だと思います

■ 会社の雰囲気

(一時帰宅など中抜けは) 会社的にはできないんだと思うんだけど、別にそんなに管理もされないの、地元の上司がいいと言えればいいみたいな。定時の17時45分を過ぎていけば全然それは構わないと思いますけど、それをずっと続けるのはちょっと厳しいかなと。

■ 妻の社会復帰

(子どもが生まれたら妻が仕事をやめる) それしかしょうがないんじゃないかなと思いますけど。

働かなくてもいいんだったら働かないままのほうがいいかなと思ってはいますが、実際問題としては、やっぱりある程度働いてもらわないとやっていけないようなところもあるんで、ある程度育ててしまえば、仕事に出て扶養の範囲内で働くかなとは思いますが。

■ 周囲の子どもの数

会社的にいうと2人ぐらいまでかな。3人はちょっと給料的に厳しいかなと。

3人はちょっと多いかなという感じですね。

(会社の中で) 結婚していない人でしょう、それで2人の人と、子どもがいる家族・・・で、その同じ社員の中でもお金の回りが違うんですよ。どうしても子どもが多いと、小遣いが少なかったりとか、どうしても会社の人とどこかへ行くといってもやっぱりね、限られてきちゃうというのがあるから。そう考え

ると、3人以上ってきついかないとしますね。

2人以上は欲しいと思っているのは思っているんだけど、やはり実際問題というところで1人とかになっちゃうのかなとは思うけど。自分も実際のところ1人もいないから、まあ2人かなと言っているぐらいで、実際になってみないとその辺わからないかなと思います。

■子育てのポジティブな面

2人の子どもが見てみたいのと、かわいいから育ててみたいかなというくらいで

■教育観

体力があって、一緒に遊べたらいいかなというくらいですね。まず健康に普通に育ててくれればいいかなと。

一緒に走ったりして、ハーフマラソンに出たりとか僕はしているんで、一緒に何か趣味を共有できて遊べたらいいかなと。

何かをさせて達成感を得させてあげたいかな。

■育児環境

預けたほうがいいかなとは思いますがね。家だけで見ないほうがいいかなと。

(預ける年齢は) やっぱり3歳とかかなと思います。

■理想の子どもがもてない理由

今までは子どもが3人、4人いれば、同じ仕事でもそっちの人のほうが給料をもらっていて、単身のほうが少ないという形だったんだけど、それが崩れつつあるのは、やっぱり心配。逆に、大して負担もないような1人の人とかのほうが、結構裕福で。そんなに格差がないというのが、不便といえば不便。

<既婚子なし 12, 32 歳, 千葉県船橋市, 公務員>

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

結婚して2年たったんで、やっぱり子どもは、結婚するとき欲しいっていうのはあって、やっぱりそういうのを話す機会がありますね。確かに年齢もあれなんで、そういうのを考えて。

2人では、「できないね」って話の中で、「どうする」という話もありますけど、具体的に医者に行ったりっていうのは、まだないですね。

■ 子どもの数

現実にと考えると多分、できて1人じゃないかなと、子どもは。

子どもが3人ぐらいいることによって、やっぱりいろんな、兄から教えてもらえることとか勉強できるようなものもある。うーん、やっぱり多ければ多いほうがいいかなと。

まあ、妻の年齢が一番だと思うんですけど（笑）。もう現実的に難しいかなと。

今の経済状況も考えるし。家も最近購入してローンも払ってる。見たら、3人ではやっていけないかなと。今の給料、現状と。

（コスト）がかかるからつくるのをやめるっていうのはないですね。

（1人ではかわいそうという感覚は）それはある。

■ 家事へのかかわり

妻が働いてるときは私が食事は全部ほとんどやってて。

洗濯は妻がやってましたけど、食事についてはほとんど、私がつくったり。今はほとんど妻がやってくれる形で。一応ごみ出しとかの〔分担?〕のときは私がやりますけど。

■ 育児へのかかわり

どのぐらい（妻が）働くかによって、できなければ私がやればいいし、できるんだったらやってもらうっていう感じですかね。

■ 育児休業について

使った人ってあまり聞いたことない。

■ 会社の雰囲気

雰囲気的には、今の職場的に休めない部分もあるかもしれないですね、確かに。やっぱり周りの感覚的には、やっぱり女性にとって、「何で男の人がとるの？」みたいな雰囲気はありますよね。

■ 妻の社会復帰

(子どもが物心ついたら)状況にもよりますが、働きたければそれはまあどういう形……朝から行って夜中帰ってくるような仕事じゃなくて、もうちょい、こう(定時に)帰れるようなのだったらやりたいっていうのはあると思います。

本人が、妻が働きたいっていうことであれば、じゃあ、どうぞっていう感じですけどね。

(妻は子どもが帰ってくる時間に)できれば(家に)いたいことはいたいみたいですけどね。そうするとおのずから仕事というのは大体決まっちゃいますけどね。本当にパート的な、お昼ごろに帰ってこれるパート的なものとかになっちゃうとは思いますが。

■ 子育て観

ある程度物心つくまでは外に出ないでやっぱり育てたいっていうのは妻の意向で。

■ 教育観

塾とかまでは。私立の小中学校に入れるとかっていうのはない、もう公立でいいから。

人の心がわかる子どもじゃないですけど、あいさつとか、いじめられてる子がいたら助けてあげられるような、そういう子どもには育ててほしいなど。

あと、部活とかやると、困難なことにも、練習とかきつい中でもいけるようになるじゃないですか。

■ 男性が育児参加する条件

子育てとか家事は女性がやるもんだっていう、昔からの、その辺のやっぱり哲学的なものなんですか、観念的なものが、今もずっと来てて、男性が1年のスパンで休業をとって休んで子育てするっていうことに対してはやっぱりまだ認められてないっていうとあれですけど、制度的にはありますけど……

■ 理想の子どもがもてない理由

女性の職場の改善でしょうね。結局、産みながら、産休とれてまた〔できて?〕というのは、結局、言われてるけど、企業とかだとそんなのが全然整備されてなくて、できたらやめなさいって言う……

結構産休で出ていったりとかすると嫌がらせされたりとか、何かそういう話も妻から聞いたりしてて、やっぱりその現状が。

子どもをまた産んでという形では、なかなか経済的な部分で、支えが、男1人だとできないというので、やっぱりその辺で少なくなっちゃうというのはあるかもしれないですね。

■ 行政へ望むこと

欲しいという人もいると思うんですよ。だけどできない人も中にはいるし、そういう場合についてのいろんな補助みたいなのは行政的にやるべきだと思うし。あと、経済的な環境でやっぱり持てないって言う人もかなり、1人2人いるとやっぱりそれだけかかるからというので、持てないという部分もあると思うので、その辺の、児童手当とかって今ふえてますけど、やっぱりそれでもまだ足りない現状は。そういうところをもうちょい充実させていくっていうのも大事なかなと思うんですね。

■ その他

(子どもが欲しい理由) 老後の心配よりも、やっぱり何かかわいいから欲しいっていうほうが強いですかね。

私は産みたくないって言う女性についても、これからもっと子どもを産んでいこうっていうスタンスに進んでいくと思うんですけど、片や私は産まないでやっていくって言う人もやっぱりいるわけで、結局何で産まないんだという周りからの目もあるから、やっぱりその辺の配慮もした上で進めていかないと、結局、子どもを持っていない女性に対しての……

<既婚子なし 13, 36 歳, 千葉県習志野市, 公務員>

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

今の段階は（妻も子どもはほしくないという）そういう状況ですね。

まあ一応子どものこととかは話はしますけどね。ただ、うちの妻のほうも年がもう、ね。

「あんまり高齢になっちゃうと厳しいかな」とは言ってますんでね。だから、別にどうしても欲しいってわけじゃないですけど、いたらいたでそれはかわいがるし。

子どもできたら、今まで2人で気楽にいて、それだけ遊びほうけてってわけじゃないですけど、旅行行ったり好き勝手やってたのが減るよねっていう話はしますよね。

ただ、その出費を別に惜しむわけじゃないけど。（コストを）理由に、別に子どもが要らないっていうわけじゃない。

■ 子どもの数

どうしても欲しいとは思ってないですね。まあ、できればできたでいいかなっていうぐらいで。

まあ、子どもの人数だったらやっぱり、そうですね、2人か3人は欲しいですけどね。

もし仮に1人できちゃったら、1人だけっていうのはかわいそうだなと。

やっぱり自分もきょうだいがあったんで、やっぱりいたほうが何かと。

いると、何かあったとき相談もあるし。そういう面を見ると、ああやっぱり2人いたほうがいいのかなどは。

結婚したら子どもをつくるの当たり前みたいになってるじゃない。

■ 子育て観

うちの姉が子どもはほぼ1歳になるぐらいには保育園に入れて、子どものあれが違いますよね。まず一つはしゃべり。人見知りもしないし、そういうのを見ると逆にいいのかなとも思いますけどね、早いうちに保育園。

■ 育児へのかかわり

極力できる範囲はやろうとは。

できるほうがやればいい。例えば、かみさんが飯の支度してればその間見てる

とか、
それが苦になるとかは別に思わないですけどね。
帰って、子どもが起きてればそれなりのコミュニケーションはとってあげたい
などは思いますけどね、できる範囲で。

■ 家事へのかかわり

今の課に来てからはほとんど帰りが遅いんで、ほとんどがもう妻がやっています。
前の課のときは結構暇な課だったんで、ほぼ自分がやっていました、家事全般は。

■ 育児休業について

(制度を使うことは) ないだろうね。

■ 妻の社会復帰

続けていくんじゃないですかね。働くのは別に苦じゃないんですけどね。だから、子どもできても、そういう仕事があれば。

■ 教育観

体育会系かな、やっぱり。

(スポーツを) 何かやらせたいよね。特に団体競技。

(友達と同じようなことは) できれば、やれる範囲はやられてあげたいかなとは。

あとは当たり前のことは当たり前でできる子であれば。その中でどこか何か飛び抜けていいのが出て、それが自分のあれにつながっていけばいいんでしょうし。

■ 育児環境

(妻の母親は)「見るな」って言っても「私見る」って言うタイプだと思うんですよ。

うちは多分、頼まなくても勝手に来ると思います、あのお母さんは。

■ 男性が育児参加する条件

男性のほうで休める状況であれば休んで見ていったっていいとは思いますがけどね。だから、環境によってやっぱり違ってくるんじゃないですか。

ちらの職場だけじゃなくて、今習慣的に世間がそういう感じじゃないですか。
今はやっと男でも家事とか、つくるようになったからまだ違ってきてるけどね。
今でも、うちらがつくってるって言うとびっくりするんで。

<既婚子なし 14, 36 歳, 千葉県, 公務員>

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

おれの遺伝子を残したいとか, そんなのはないんですけど. まあお互い, 結婚だから, お互い, 相手も望んでることでもあるし.

妻は欲しいって言うんですよ, 子ども. テレビとかよく小さい子とか出てて, 「かわいい」とか言ってるから. まあ, 口では言うんだけど, でもどうなんだろう

まあ, 冗談っぽくかみさんと話をしたりして, できなかつたら犬でも飼ってとかね (笑). わざわざ行って大変な思いして治療までしてというのは, そこまでは…….

■ 子どもの数

1人っ子だったけど, やっぱりそう思う. きょうだいがいいたほうがよかったなって.

理想は, そうですね, 男, 女.

1人だけでも全然.

イメージは, 子ども1人なんですよ.

■ 家事へのかかわり

料理は向こうがつくるって感じ, それ以外は大体私のほうでやって.

■ 育児休業について

前, 職場一緒だった人が使ってた.

仕事考えたらちょっと休めないかな.

■ 会社の雰囲気

確かにとりにくい.

結局, 自分が休むと, ほかの人が結局, その・・になってしまうので.

■ 妻の社会復帰

うちは多分, 現実的な話, やっぱりお金の面とか, 働いてもらわないと厳しいってというのが正直なところ.

やっぱり働いてたほうが, うちのかみさんは, いいかなと思うんですけどね.

ただ, 9時5時で終わって, その日で終わるような仕事のところがいいなと.

■教育観

小さいうちだとやっぱり人見知りをなるべくしないような、いろんなお友達が多くできるような子どもかな。

何になってほしいとかって特になんないんだけど。とりあえずスポーツ，何でもいいから。

やっぱりチームプレーだとかいろいろ得られるものが。

勉強は普通にできればいいかな。

なるべくいろんなこと，自分が知ってること，うちのかみさんも自分の知ってることを教えてあげたいとかあるかと思うし。

■育児環境

（両親は）話ではしたことないけど，まあ助けてくれるんだらうなっていう，困ったとき。

■理想の子どもがもてない理由

経済的なものはやっぱり，そこが多いと思うんですけど。

■その他

（子どもが欲しい理由）本能で欲しいっていうような感じかな。

未婚男性の子ども，子育てに対する意識

本章においては，未婚男性の，子ども・子育て意識についてインタビュー結果を中心に分析を行う。なお適宜，昨年度（平成15年度，2003年4月～2004年3月）に行った，大量観察調査（未婚者に対する子どもの価値と出産・育児に関する調査：VOCY調査）の結果¹を適宜提示しつつ論を進めることとする。

1. はじめに：インタビューデータの取得方法

1-1. 調査対象者

首都圏に在住20歳代の未婚男性15名が調査対象者であった。対象者は，次の2つのグループに分かれており第1のグループは，大学生7名，第2のグループは会社員(正規社員)8名から成る。

	対象者	人数	年齢	地域	職業
グループ1	独身男性	8人	20歳代	首都圏	会社員
グループ2	独身男性	7人	20歳代	首都圏	学生

1-2. 調査の手続きと手法

インタビューを行う前に，調査の目的と方法についてのインフォームドコンセントを行い，協力者の同意を得た。その後インタビューを実施した。インタビューはICレコーダによって録音し，後日，これを逐語で起こしたものを分析対象とした。インタビューは，フォーカスグループインタビューの手法により進められた。すなわち，似通った属性の集団(この場合は，性別，年齢，婚姻状態，職業，学歴，居住地域)による自由回答を中心にインタビューを行った。

インタビューに先立ち，ガイドラインを作成し，これを元にインタビューを進めることとした。ガイドラインの作成にあたっては，昨年実施した未婚者に対する「子どもの価値観と出産・育児に関する大量観察調査の結果と考察に基づき，次のテーマを中心に進めた。

¹ 未婚者に対する「子どもの価値と出産・育児に関する調査」の実施概要は次の通り。なお詳細は，「男性の子どもの価値観と出産・育児に関する研究：平成15年度総括研究報告書」を参照のこと。

調査期間：2003年12月-2004年1月

調査対象者：首都圏大学生の男女

回収数（回収率）：786票(70.1%)

調査項目：基本属性，子どもや家族に関する項目，育児休業制度に関する項目

グループインタビューガイドライン

「子どもの価値観と出産・育児に関する調査」
インタビュー（フォーカス・グループ・インタビュー）：ガイドライン
2005年2月11日午後1時～

参加者（予定）：8人
モデレーター：1人

やり方

1. モデレーターの進行に従ってお話下さい。以下のテーマを中心にインタビューを進めます。
2. 経験、感想、意見を自由に話し合ってください。
3. 色々な考えがあっても良く、結論に達する必要はありません。
4. 同時に2人以上が話さないようにして下さい。
5. 片寄りすぎないで、全員がほぼ同じだけ話すのが理想です。

記録方法とプライバシーの厳守

1. 話し合いを録音します。
2. 録音を起こし、話し合いの内容をまとめ、分析を行います。
3. 研究を目的以外には、テープや記録にはられません。公表する際には個人が特定されないようにします。

■テーマ1：基本属性

- 年齢、現在居住地域（都道府県及び市）及び出身地域（都道府県及び市）、離家している場合はきっかけなど
- 婚姻状態
- 同居家族および両親の居住地
 - 配偶者がいる場合は、配偶者の年齢、配偶者の職業、婚姻期間
 - 子どもがいる場合は、子どもの人数、子どもの性別と年齢

■テーマ2：結婚の希望

- 結婚の希望
- 理想の結婚年齢、適齢期意識
- 理想の結婚形態と就労形態（自分及び配偶者の就労タイプと子どもの有無など）

■テーマ3：子どもを持つことに関する意識

- 将来子どもを持ちたいかどうか
 - 子どもを持つ希望の有無とその理由
 - 理想の子どもの数とその理由
 - 理想の男女の組み合わせとその理由
 - 実際の子どもの数の予測（最終的に何人欲しいか）とその理由

■テーマ4：育児・家事への意欲

- 育児休業制度があったとしたら、使うか
- 育児にどの程度コミットしようと思っているか
- 子どもを育てることのコスト感
- 具体的な家事参加状況

■テーマ5：少子化の問題意識と育児参加への条件

- 現在の日本の少子化問題をどう考えるか
- どうすれば、男性は育児により参加するようになると思うか
- どうすれば、理想の数の子どもを持てるようになると思うか

2. 結果

2-1. 結婚意欲と配偶者

インタビュー対象者に結婚の意欲についてたずねたところ、全員が、結婚希望を有していると回答した。

具体的に妻の就労パターンについての希望を聞いたところ、まず、グループ1（就労グループ）においては、基本的には、子どもが小さいときには妻が家にいることを前提にする意見のみであった。子どもが2-3歳以上になったときの妻の就労については2つの意見が出た。

1つ目が、「専業主婦希望」である。

【就労グループ：専業主婦希望の意見】

B氏 いなければ、別に働いていてもらっていても構わないですけども、子どもができたときに、幼稚園とか大きくなって上がってきたときに、家に帰ったときにカギっ子って嫌だなと思うんです。だからそういうときに、自分もそうだったんですけど、小学校の低学年で帰ってきたときに、まずお母さんに報告するじゃないですか。今日何があった、何があったとか。そういうときに聞いてくれる相手がいないと多分非行に走ると思うんです。(笑)

— じゃあ、B氏は子どもができるまでは働いて、奥さん。

B氏 まあ、どっちでもいいです。

— どっちでもいい、働いてなくても。

B氏 (働いてなく)てもいいんですけど、子どもができれば家にいてほしい。

— それは子どもが小さいときも大きいときも。

B氏 大きくなったら、まあ、いいですけどね。

— その大きいっていうのはどれぐらいですか。

B氏 高校ですね。高校から、僕自身がもう高校からもう家を出たっていう、独立したっていうのもあるんで、で、今真っ直ぐに生きてるじゃないですか。なんで、自分が、実家のほうの何か風習というかそんな感じなんです。どこの家も、田舎なんでどの家もお母さんが家にいるっていう。

— 家にいたと。ちなみにB氏のお母様はどういう働き方。専業主婦？

B氏 もう専業主婦です。

— 働いた経験は。

B氏 は、ありますね。結婚前は働いてました。

— 結婚を機に。

B氏 やめて。

— 退職をして家に入ったという感じですか。

B氏 そうです。

— お子さんが大きくなってから復活したっていうことありますか。

B氏 今、まさに一番下の弟が大学生になったんで、それを機に働き始めてますけど。

— じゃあ、そういうのがいいんじゃないかっていう感じですかね。

B氏 そうです。

— 今、B氏のこういう理想というか、こういうのがいいんじゃないかというのありましたけど、これに対してほかの方ご意見ありますでしょうか。こういうのがいいっていう人、ほかにもいらっしゃるでしょうか。

C氏 基本的にはB氏の意見とかなり一緒ですね。

— C氏も、はい。

C氏 一つあるのは、僕、ほかの方も含めてですけど、転勤族があるんで、お互いが総合職的な仕事はできないだろうなというのが条件としてかかってき